

学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

JOSAI INTERNATIONAL CENTER for the Promotion of Art and Science (JICPAS)

学校法人 城西大学

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

☎ 03-6238-1300

http://www.josai.jp/

Newsletter

Josai University Educational Corporation
3-26 Kioi-cho, Chiyoda-ku, Tokyo ☎ 03-6238-1300 <http://www.josai.jp/>

No.13

水田理事長にハンガリー共和国より文化勲章授与

日時…2011年5月18日
場所…駐日ハンガリー共和国大使館



ハンガリー共和国文化勲章の授与

2011年5月18日ハンガリー大使館において、ボハール・エルヌーハンガリー共和国特命全権大使より、本学水田宗子理事長へ、ハンガリー共和国より「Pro Cultura Hungarica」が、授与されました。これは、ハンガリー共和国の文化勲章で、これまで社団法人日本経済団体連合会会長米倉弘昌氏、指揮者小林研一郎氏などが受章しています。ハンガリー大使館より、本学教職員、ハンガリーからの留学生・ハンガリーで学んだ学生等約45名が招待を受け、理事長への文化勲章授与をお祝いしました。



JIU 井出さんよりお祝いのスピーチ

ボハール大使より、これは、学校法人城西大学が、ハンガリーと日本の教育交流ならびに文化交流に積極的に取り組んできたこと、また、シヨーム・ラースロー前大統領の来学を記念して「大統領来学記念水田宗子ハンガリー奨学金」を設立し、両国の学生交流ならびに人材育成に寄与してきたことが評価されてのことと説明がなされました。水田理事長より、「これは、本日がいたしましたが、学校法人城西大学へ頂戴したものだと思っております。これからも両国の学生の交流と育成に力を尽くしてまいります」



全員で記念撮影



学生から歌のサプライズプレゼント



セント・イシュトバーン大学より名誉博士号授与

名誉博士記

セント・イシュトバーン大学より

水田理事長へ名誉博士号授与

日時…2011年6月17日
場所…セント・イシュトバーン大学、ハンガリー共和国

とのお礼の言葉が述べられました。
城西国際大学大学院生の井出麻木さんが、自身のブダペスト商科大学で学ぶ機会を得られたのもこの交流のおかげであり、ハンガリー語だけでなく多くのものを学ぶことができたことを披露しつつ、お祝いのメッセージを述べました。
その後、ハンガリー大使館より、受勲のお祝いとして、和田さやかさんによるピアノ演奏、リスト「愛の夢」がプレゼントされました。

引き続き、大使館の心づくしの美味しいハンガリー料理がふるまわれ、会食のあいだ学生たちと歓談していた水田理事長、ボハール大使とともに学生たちの言語の上達ぶりを笑顔でたえていました。
会の最後には、サプライズとして、学生たちが全員で、力を合わせて、ハンガリーのお祝いの歌をハンガリー語で歌い、参加したみなさんをとってもあたたかな気持ちにさせてくれました。



名誉博士号授与式の会場

誉博士号（経営学）がシヨルテイ学長より授与されました。セント・イシュトバーン大学

とは、学生交流、教員交流、観光学部研修とさまざまな交流が実施されています。

セレモニーにおいて、ヴィツラーニ学部長から、水田理事長への授与にあたっての事由説明として、人材育成におけるハンガリーと日本の友好交流の促進に関する貢献、研究者としての業績、大学経営者としての業績などが評価されての授与であることが述べられました。

水田理事長は、授与に対しての感謝、これまでの城西大学のハンガリーとの交流史に触れ、今後、さらに友好に力を尽くし、人材育成につとめていきたいと話しました。また、最後に今回の震災に際して、ハンガリーの皆さんから示された支援の気持ちに深く感謝しますとお礼を伝えました。本学からは、名誉博士号授与記念として日本人形を贈呈してまいりました。

前日に開かれた名誉博士号授与記念夕食会においては、ヴィツラーニ学部長、グート副学部長、ヴァンヤ教授らが夫人とともに、出迎えてくれました。同時に名誉博士号を授与

城西国際大学よりボハール・エルヌー

駐日ハンガリー大使へ名誉博士号授与

日時…2011年5月18日
場所…駐日ハンガリー共和国大使館

名誉博士記

2011年5月18日ハンガリー大使館において、大使館、本学のハンガリー共和国にお力添えをいただいています皆様、城西大学・城西国際大学教職員、ハンガリーからの留学生、ハンガリーで学んだ学生約45名参加のもと、城西国際大学卒業式にて予定されていたボハール・エルヌーハンガリー共和国特命全権大使への城西国際大学名誉博士号授与

される南ボヘミア大学の学長一行とともにセント・イシュトバーン大学学生によるハンガリアン・ダンスの歓迎を受け、セント・イシュトバーン大学の美しい庭園を鑑賞しながら、和やかな交流のひとつを楽しみました。



水田理事長スピーチ

式が行われました。

これは、2011年3月18日城西国際大学卒業式にて予定されていた授与式が、東日本大震災の影響により延期となっていたものです。

水田宗子理事長より、ボハール大使への城西国際大学名誉博士記授与並びに名誉教授授与を行い、続いて石田城西国際大学副学長よ



贈呈したメダルを手に



城西国際大学からボハール大使へ名誉博士記授与

り授与理由の説明がなされました。
ボハール大使は、着任されてからの4年間、学校法人城西大学へのハンガリー大統領の来学実現に尽力いただき、東京・ブダペスト間をつないだ遠隔授業の実施、本学「大統領来日記念水田奨学金」の創設に貢献。さらには、今日の本学の広範囲なハンガリー主要



学生たちに囲まれて

大学との提携ネットワークの構築に、大きなご支援をいただきました。
このように、日本とハンガリー両国の重要な橋渡し役として、また、両国の若者に向けた教育および文化活動の積極的な展開と、そこに自らが積極的に参加し、日本とハンガリーの交流の促進、ひいてはハンガリー国内での本学の名声向上に大きく寄与し、その功績が高く評価されての授与となりました。
ボハール大使より、「城西の一員となれて、本当にうれしい。これからずっと日本・ハンガリー、そして城西のためにできることをしていきます。授業で城西国際大学を毎年訪ねることができるとも本当に楽しみです」と挨拶されました。
最後に名誉博士号授与をお祝いし、両大学学生代表がスピーチをし、ハンガリー語と日本語とそれぞれに上達した様子をボハール大使は、うれしそうにご覧になっていました。



名誉博士記の授与



修剛先生のスピーチ

2011年9月3日、城西国際大学の秋期卒業式において、中国・天津外国語大学の学長である修剛先生へ水田宗子理事長より、名誉博士記が授与されました。
修剛学長は、日本語教育がご専門で、中国において現在では数少ない日本関係ご出身の学長として、中国全土の日本語教育界の中心の柱として、大変にご活躍をされておられます。1999年に、天津外国語学院学長に就任、同学院の拡充発展に尽力し、2010年には、同学院を総合大学へと格上げするという大変に困難な事業を成し遂げられました。その実績は中国における日本語教育の第一人

者として知られるところとなっています。
天津外国語大学と本学は、2007年10月に学術交流協定を締結いたしました。大学院、学部にも学生が学びにきており、また教員の交流も活発に行われています。本学で学んだ学生たちは、中国に帰国後、大学教員、大学国際交流担当、保険会社、一流ホテルなど大変によい就職を得ており、そのことについても大変喜ばしく思っています。2011年1月、本学との共同学部設置の覚書が交わされ、今後、新たな国際教育の展開が期待されることとなっています。このように本学と深いつながりがあり、また中国における日本

名誉博士記

日時…2011年9月3日
場所…城西国際大学

城西国際大学より修剛(天津外国語大学学長)先生へ

名誉博士記授与



張徳祥先生への名誉博士記授与



村井隆先生への名誉博士記授与

城西大学より張徳祥（大連理工大学党委員会書記）先生、 村井隆先生へ名誉博士記を授与

名誉博士記

日時…2011年9月27日
場所…城西大学

2011年9月27日、城西大学の秋期卒業式・入学式において、中国・大連理工大学の党委員会書記である張徳祥先生と日中協会常任顧問である村井隆先生へ水田宗子理事長より、名誉博士記が授与されました。

語教育の中心を担っておられる修剛先生に本学名誉博士号を授与できたことは、本学にとりまして、誠に喜ばしいことでした。
修剛学長は、大変に光栄なことで、今日から、城西国際大学の一員となったことを本当にうれしく思います。忘れられない日となりましたとお礼のスピーチをされました。

修剛先生の名誉博士記授与に際して、ま

た、駐日中国大使館から孫建明公使もおいでいただき、すばらしいスピーチをいただきました。中国大使館にも多くの天津外国語大学出身者が働いておられるとのこと、ことのほかうれしいとお話でした。

記念晩餐会では、本学学生による三味線演奏や、留学生たちに教えてくださっている日本舞踊の先生の舞を楽しみました。

インターンシップの受け入れ、J M B A デュアルディグリープログラムの設置、学生の交換、社会人特別研修など、大変親密で充実した交流が、展開されています。これらの交流につきまして、張書記は、2007年に党委書記を林安西先生から引き継がれて以来、熱意をもって、支援してくださっています。

その後、張書記の指導のもと、2010年には、本学大連事務所が大連理工大学の中に開設され、両大学の交流支援の基地となっています。また、共同大学院も開設され、中国教員の日本語、日本文化教育に本学が大きく貢献し、教員同士の交流も大変盛んに行われています。これは、張先生が、ご専門の高等教育に関する深い理解と学識、そして国際的な視点による高い理想をもって、指導ならびにご支援によるものです。これらの業績をもって、このたびの名誉博士記授与となりました。

次に日中協会常任顧問の村井隆先生についてですが、1986年に水田清子名誉理事長を団長に、森本雅憲現学長も一緒に中国・吉林省延辺大学を訪問した折に、村井先生は、日中協会顧問として一行を率いてくださり、日中大学間で初めてという学術交流協定書の調印式を人民大会堂で行うことができました。それにより、80〜90年代の埼玉県で最も多くの留学生を受け入れた大学となり、当時の卒業生たちは、今、母国で大学教授、外交官、企業のトップとして活躍している人たちが多数出ています。また、大連理工大学をはじめ、大連地区における交流、北京、広東、天津、瀋陽、南京など中国各地の大学交流推進に際し、適切な助言とサポートをいただき、学校法人城西大学の中国における教育推進の大きな力となっております。また、文化的相互理解のために設立された日中短詩協会に関

しても、理解と支援をいただき、幅広い貢献をしてられました。これらの業績に敬意を表して、本学からの名誉博士記授与となりました。

式典の後には、名誉博士記授与を記念して経営学部棟の前に3本のアカシアを植樹しました。また、お祝いに集まった大連理工大学からの留学生たちと、張書記、村井先生は、大学での学業や生活について話をされました。歓迎昼食会においては、両先生に向けた留学生による流暢な日本語、日本人学生による流暢な中国語のお祝いのスピーチに、大変感動しておられました。歓迎昼食会では、ハングリー共和国からの学生から新入学生に向けたスピーチもあり、おおいに心打つものでした。おふたりは、グリークラブ合唱、弓道部演武など学生たちの活動を見学され、学生との交流を楽しみました。



アカシアを植樹

講演会・シンポジウム

学校法人城西大学創立45周年事業・城西大学水田美術館

建設記念シンポジウム「近世版画の色と技」

日時…2011年6月18日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

講演会
シンポジウム

2011年6月18日、城西大学の新たな水田美術館の建設を記念したシンポジウムが、紀尾井町キャンパスにて開催されました。「近世版画の色と技」をテーマに設定し、浮世絵愛好者や研究者ら約180名を超える方々が来場されました。

今回のシンポジウムでは、浮世絵や近世絵画、文化財研究の分野の第一線で活躍されている、学習院大学教授・千葉市美術館館長・小林忠氏、千葉市美術館学芸課長・田辺昌子氏、静岡県立美術館学芸員・福士雄也氏、吉



小林忠氏による基調講演「浮世絵版画の色彩表現」



摺師 中田昇氏による写楽（松本米三郎のけはい坂の少将実はしのぶ）摺りの実演

備国際大学教授・下山進氏の4氏をお招きし、江戸時代の多様な版画芸術について色彩と技法の観点からご発表いただきました。

はじめに、水田美術館の設計者であるStudio SUMOの建築家Sumi Bald氏が、建築コンセプトを紹介されました。小林氏の基調講演「浮世絵版画の色彩表現」では、浮世絵版画の歴史、鈴木春信や喜多川歌麿などの錦絵の色や摺り技法について、多数の作品画像を示しながらお話いただきました。続いて、浮世絵版画の摺りの実演では、ア

ダチ版画研究所の中山周氏による解説のもと、摺師の中田昇氏によって、写楽《松本米三郎のけはい坂の少将実はしのぶ》の摺りが実演されました。正面摺など高度な技法も披露され、聴講者から多数、質問が寄せられました。

研究発表では、田辺氏が「錦絵創始期のの色と流通―鈴木春信を中心に―」、福士氏が「上方版画と伊藤若冲」、下山氏が「文化財非破壊分析法による浮世絵版画の素材調査」と題し、江戸の浮世絵や上方の版画、その色彩や技法、絵具の種類などについて、最新の研究成果をご発表されました。

ディスカッションは、城西国際大学国際人文学部国際文化学科・門脇むつみ准教授の進行のもと、聴講者から寄せられた質問に答える形でおこなわれ、江戸と上方の版画の違いなど、4氏のご見解を聞くことができました。

今回のシンポジウムは、盛況のうちに閉幕し、11月末竣工予定の城西大学水田美術館を広く

東京国立博物館特別展「写楽」に本学美術館所蔵2点を貸し出し

日時…2011年5月1日～6月12日

場所…東京国立博物館

上野の東京国立博物館で5月1日から6月12日まで開催の特別展「写楽」に、学校法人城西大学水田美術館所蔵の東洲斎写楽の錦絵2点が出品されています。《岩井喜代太郎の鷺坂左内妻藤波と坂東善次郎の鷺坂左内妻小笹》寛政6年(1794)、大判錦絵



東洲斎写楽《岩井喜代太郎の鷺坂左内妻藤波と坂東善次郎の鷺坂左内妻小笹》寛政6年(1794)、大判錦絵

無名の写楽が28枚の豪華な雲母摺の大首絵で突然デビューを果たした第1期のうち、現存数の稀な1図です。《風龍蔵の奴浮世又平》は役柄の性格を全身で表した第2期の優品。写楽作品の中でも2点はとりわけ貴重であるため、東京国立博物館から本学へ貸し出しの依頼があったものです。



東洲斎写楽《風龍蔵の奴浮世又平》寛政6年(1794)、細判錦絵



ディスカッションの様子

知っていたく好機となりました。また、聴講された皆様は、浮世絵をはじめとする近世版画について、技術の面から見た多様性や奥深さに考えを巡らすことができ、その魅力をあらためて感じることができたのではないのでしょうか。

学校法人城西大学イノベーションセンター開設記念

講演会「21世紀型イノベーションとは」開催

日時…2011年7月22日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



学校法人城西大学は、7月22日、産学官協働事業や海外の大学との共同研究などの拠点となる「イノベーションセンター」を開設しました。それを記念して同日、東京紀尾井町キャンパスで「21世紀型イノベーションとは」をテーマにした講演会を開きました。

講演に先立ち水田宗子理事長が「城西大学・城西国際大学はイノベーションセンターを軸に21世紀型の大学として教育や研究に力を注ぎ、社会で活躍する人材をこれまで以上に育成したいと思っています。社会に広く貢献する責任を果たしていくことが、イノベーションセンター設置の目的です」と挨拶されました。

最初に清成忠男イノベーションセンター顧問が「大学におけるイノベーションの役割と発展」と題した講演を行いました。「チームに



イノベーションセンター清成顧問の講演の様子

よってイノベーションが生じ、ひとつのイノベーションが新たなイノベーションを生むという普及過程と、社会的ニーズに合致した教育・研究が重要で」となどと述べられました。

続いて土居征夫イノベーションセンター所長が、「21世紀型イノベーションへの条件」と題した講演を行いました。イノベーションセンターが今後取り組む課題として、①新しい地域福祉医療ネットワークの形成②グローバル人材の養成などを挙げ、本学でのイノベーション推進を表明しました。

学生や企業・大学関係者や政財官界などから約160人が来場し、会場の地下ホールは満員の盛況ぶりでした。社会的・経済的な新しい価値の創造を意味する「イノベーション」に対する関心の高さを物語っていました。



講演するイノベーションセンター土居所長

国際交流活動

城西大学J MBAスカラシップ奨学生授与式

日時…2011年5月17日
場所…城西大学



2011年5月17日に城西大学J MBAスカラシップ奨学生授与式が城西大学坂戸キャンパスで行われました。

この奨学生制度は、大連理工大学管理学院から、本学J MBAプログラムに参加する留学生（毎年5名）を対象に、本学大学院経営



授与式の様子

学研究科での1年間の勉学を奨励することを目的に設置されました。

授与式では、水田理事長をはじめ、学長、各学部長、研究科長など多数が出席し、5名の留学生に対し、本スカラシップが授与されました。

代表として、白海玉さんから謝辞が述べられ、決意と今後の意気込みなどを語ってくれました。ぜひとも、1年間、がんばってほしいと思います。

城西大学J MBAプログラムは、2009年2月に、学校法人城西大学と大連理工大学管理学院との間で、「1+1」のデュアルディグリープログラムに関する協約が締結され始まりました。このプログラムでは、城西大学と大連理工大学の両方の修士の学位を取ることが出来ます。日本からも、中国ビジネスに興味のある多くの方々に、このプログラムに参加してほしいと願っています。

城西大連・東北学友会懇親会を大連にて開催

日時…2011年5月29日
場所…大連、中華人民共和国



2011年5月29日、訪問先の大連において、第1回城西大連・東北学友会懇親会を開

て、第1回城西大連・東北学友会懇親会を開

催いたしました。

城西大学・城西国際大学で学んだ卒業生たちはもとより、向坊隆記念、村井隆奨学金、水田三喜男記念、水田宗子奨学金の授与を受けた奨学生たち、J M B Aの卒業生たち、日中連携大学院の先生・学生たちが、大連在住の卒業生だけでなく、遠く瀋陽からもかけつけてくれ、出席者は60名を超え大変にぎやかなパーティーとなりました。出席者は、全員一言ずつ挨拶を行い、欧米・中国の大学教員として、中国の多国籍企業の幹部として活躍していることがわかり、我々も感激ひとしおでした。

冒頭、30年にもおよぶ大連との教育交流に尽力いただいた本学顧問の村井隆氏より挨拶があり、このように両国の教育を受けた学生がすばらしく成長し活躍している姿を見られて、感無量であると言葉を詰まらせながら喜びをあふれさせました。会場にいる誰もがあらためてその思いを感じとり、この交流を繋げていかねばという強い決意を固めました。

また、その場で大連理工大学の杜鳳剛先生から大連校友会会長として、また、大連市政

府副秘書長（本学客員教授）の于濤先生からも大連外国語学院校友会会長のお立場から、ご挨拶いただきましたことも大変うれしいことでした。これにより、城西大学の校友会が、大連の校友会の一部として、連携を取りながら活動を展開していくこととなり、今後の活動が楽しみになりました。



校友会懇親会の様子

大変な感激でした。みなさん方も勉学に励んで、日中両国のリーダーとなる人材になってくれるよう期待しています」と挨拶されました。

奨学生を代表して許翼さんが「伝統のある奨学金をいただくことになり、大変誇りに思っています。国境を越えて支援してくださることに深く感謝するとともにその気持ちを忘れることなく研究に邁進していきたい」と感謝と誓いの言葉を述べました。

奨学金授与式に引き続き、水田三喜男記念文庫第7次贈呈式が開催されました。城西大学福島和伸教務部長による趣旨説明の後、文庫が設置されている大連理工大学管理学院蘇敬勤院長へ「水田三喜男記念文庫」の目録が贈られました。今回は、東日本大震災の直後であるため、危機管理、イノベーション関連、事業継続マネジメント関連の著書を集めてお送りしました。

最後に大連理工大学側から出席した寧桂玲副学長が、「自分も第1回目の向坊隆記念」

村井隆奨学金を得た奨学生でしたので、昨年に引き続きこの場に立ち会えてうれしい。みなさんには、期待にこたえられるようにがんばってほしい」と挨拶し、和やかな雰囲気の中、終了しました。



水田奨学生へ奨学金の授与

向坊隆記念村井隆奨学金、

水田三喜男記念水田宗子奨学金授与式ならびに

水田三喜男記念文庫第7次贈呈式開催



日時：2011年5月30日
場所：大連理工大学、中華人民共和国

2011年5月30日、中国大連理工大学において、向坊隆記念、村井隆奨学金、水田三喜男記念、水田宗子奨学金授与式が行われました。大連理工大学大学院副院長朱丹教授の開会の辞に続き、村井隆顧問ならびに水田

宗子理事長より、奨学生に選ばれた学生たちに奨学金を授与しました。水田理事長は「昨日、校友会においてこの奨学金を受けられた卒業生のみならず、どのような活躍をしているかを直接会って知ることができました。

日中連携大学院 第2回入学式開催



日時：2011年5月30日
場所：大連理工大学、中華人民共和国

2011年5月30日、中国・大連理工大学で日中連携博士課程の第2回入学式が開催されました。

城西国際大学との連携大学である大連理工大学・大連外国語大学・東北大学の中国3大学から教員も参列し、新入生10名を迎えました。

杜鳳剛大連理工大学外国語学院院长、陳岩大連外国語学院日本研究センター所長の挨拶

のち、水田宗子理事長よりすべての学生に入学許可書が手渡され、学生たちは緊張の面持ちで受け取っていました。

入学者を代表して大連外国語大学の劉曉華（大連外国語学院日本語学院准教授）が「日本では未曾有の惨事が起きた3月11日の翌日、まだ成田空港があいていないという情報で中国へも入ってきていましたが、12日の成田発の第一便となった大連行の飛行機で城西国際

大学の先生方が入試にいらしてくださいました。この日中連携大学院にかけける情熱が伝わり、我々も大変な緊張と喜びとでこの場に参加しております。大変なこともあるでしょうが、皆様の力をいただきながら頑張り通したい」と挨拶し、出席者の心をおおいに感動させました。

水田宗子理事長は「今年は2年目というところで、さらに順調に授業や指導が行っていると思います。博士号の取得は大変なことです。先生方とともにどういう未来が考えられるかも念頭に置きながら、がんばっていきましょう」と挨拶しました。



日中連携大学院新入生へ証書授与

大連理工大学張徳祥党委書記を表敬訪問

日時…2011年5月30日
場所…大連理工大学、中華人民共和国



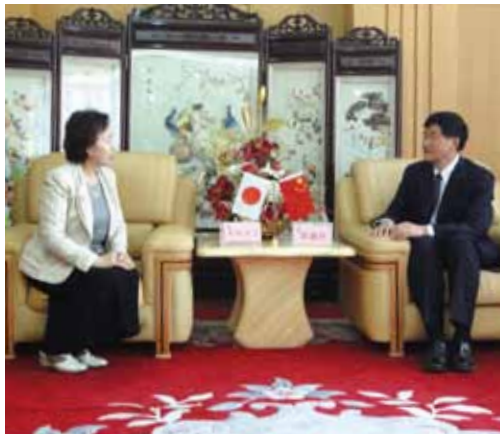
2011年5月30日、水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学大連訪問団一行は、大連理工大学の張徳祥党委書記を表敬訪問し、水田理事長と張書記の会見が行われました。

張書記から、大連理工大学と学校法人城西大学との交流活動が、本学の姉妹校の中でもっとも親密に活発に行われていることを大変うれしく思っていますと話がありました。

引き続き、水田理事長は、両校のあいだで、J M B A、日中連携博士課程、学部間共同プロジェクトが順調に進んでいることへ、張書記をはじめ、大連理工大学の関係の先生方のお力添えのおかげと深い感謝を伝えました。

最後に張書記から、今年度の城西大学名誉博士号を授与いただくことになっていますので、できるだけ早い機会に城西大学をお訪ねすることを楽しみにしていますとの発言がありました。

り、訪問した一行全員から笑顔と拍手が送られました。



大連理工大学張書記 表敬訪問

大連外国語学院柳振万書記を表敬訪問

福祉関係・絵本(キッズ・ライブラリー分室)贈呈

日時…2011年5月31日
場所…大連外国語学院、中華人民共和国



2011年5月31日、水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学大連訪問団一行は、大連外国語学院に柳振万書記を表敬訪問しました。柳書記からは、旅順キャンパス訪問の歓迎、そして大連外国語学院の学生たちが多く城西大学・城西国際大学で学び、大きく成長して帰ってきていることへのお礼が述べられました。

水田理事長から、柳書記には、本年4月の城西大学にて名誉博士号を授与する予定でしたが、東日本大震災のため延期となっており、調整のうえ、1日も早く本学へおいでいただきたいと伝えられました。また、大連外国語学院から本学へ留学している学生たちの学生生活の報告、大連市による城西・大連福祉人材育成奨学金による学生たちの様子などが、報告されました。今回は、大連市の福祉人材育成奨学制度を記念した福祉関係の著書、ならびにキッズ・ライブラリーの分室用にと絵本



大連外国語学院柳書記表敬訪問

李万才大連市長を表敬訪問

日時…2011年5月31日
場所…大連市政府、中華人民共和国



水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学一行は、2011年5月31日李万才大連市長を表敬訪問しました。

大連理工大学、大連外国語学院の首脳も同席した会見の場においては、李市長に城西大

学・城西国際大学と両大学の非常に幅広い学生交流、城西大連・福祉人材育成奨学金のこと、大連市にある企業に関するさまざまな共同研究もすすんでいることなどについて報告がなされ、市長も日中の大学交流が盛んなこ



カリヨン通り座談会

2011年5月31日、日中短詩協会の関係者である水田宗子理事長、村井隆顧問、大連



日時…2011年5月31日
場所…大連、中華人民共和国

日中短詩協会第2回カリヨン通り座談会開催

とを大変喜んでおられました。
同行した本法人顧問を務める村井隆氏は、社団法人日中協会常任顧問、大連市名誉市民、および大連理工大学名誉教授でもあります。村井氏は、これまで「日中アカシア懇談会」、「キャノン杯日本語スピーチコンテスト」と「岩谷杯溶接技能試合」など、大連と日本の友情を深め、大連の経済、文化事業の発展に積極的な役割を果たし、大連に大きな貢献をしてこられた方です。その功績に対し、市長から感謝の言葉がありました。
李万才市長は、「現在、大連市はすでに高度発展の段階に入り、東北の古い工業基地の振興と全域の都市化の発展戦略は、国際投資家のために大きな舞台を提供している。城西大学の皆さんが、これからも大連の発展に関心



李万才大連市長表敬訪問

を持って、積極的に日本と大連の大学との教育連携を進め、双方の人材交流を強化してもらいたいと心より願っています」と語りました。

外国語学院陳岩先生、大連理工大学杜鳳剛先生、大連外国語学院劉利國先生、城西国際大学樊殿武先生の出席を得て、2008年に始まった日中短詩協会のイベントとして、同人誌『カリヨン通り』の座談会を開催しました。
今回は、日本における2011年5月11日「東日本大震災」のあとでしたので、今回の震災のことだけに限らず、「災害と文学」をテーマに、各人がこれまでの人生における戦災や災害文学についてなど思うことを一人ずつ述べました。今回は震災の被害と津波の映像が、中国でも同時期に放映されていたこともあり、大きな災害について国境を越えて、大きく心を痛め、自分は何ができるのかを自

身に問うていたことがわかりました。

座談会のまとめは、『カリヨン通り』7号に掲載

カーロリ・ガーシュパール・改革派大学と 学術交流協定締結



日時…2011年6月15日
場所…カーロリ・ガーシュパール・改革派大学、ハンガリー共和国

2011年6月15日、水田宗子理事長以下7名の訪問団がハンガリーの首都ブダペストにあるカーロリ・ガーシュパール・改革派大学を訪れ、学術交流協定が締結されました。バツラ・ピーター学長は、調印にあたり、日本語教育において大きな成果をあげている本学で日本語を学んでいる学生たちが、城西大学で、さらに実践的かつ意義深い教育を受けられることに深く感謝しますと挨拶しました。



カーロリ・ガーシュパール・改革派大学調印

水田理事長は、ハンガリーとの幅広い交流は、本学にとっても大きな喜びです。日本語だけでなく日本文化や伝統を学べる教育をしていますので、今後多くの学生が、本学に学びにきてくれるよう期待していますと述べました。
カーロリ・ガーシュパール・改革派大学は1855年に設立されたブダペスト改革派神学アカデミーが前身となり、1993年にハンガリー改革派教会の後押しで神学部以外の学部も含めた大学として設立された伝統ある大学です。1995年には人文学部に日本語学科を設立、約80名の学生が日本語を学んでいます。既に同学出身の学生が国費留学生として城西国際大学に学び、現在人文学部研究科博士課程に在籍しておりますが、本年9月より、協定後初めて水田ハンガリー人材育成奨学生に選ばれた学生1名を城西国際大学メディア学部にて迎える予定です。『日本語』を足がかりとして、今後様々な交流が期待されます。

コルヴィヌス大学と学術交流協定締結



日時…2011年6月15日
場所…ブダペスト・コルヴィヌス大学、ハンガリー共和国

2011年6月15日、水田宗子理事長以下

7名の訪問団が、ハンガリーの首都ブダペス

載予定であり、また、今回の災害をテーマに各人がエッセイもしくは詩を残すことになりました。

トの中心地にあるブダペスト・コルヴィヌス大学を訪問し、ブダペスト商科大学、セント・イシュトバーン大学、エトヴェシュ・ローランド大学、ニレジハーザ大学、そして同日協定を締結したカーロリ・ガシシュパール・改革派大学に続いて、ハンガリーで6校目となる学術交流協定が締結されました。

協定締結にあたり、タマス・メーサーロシュ学長は、協定を大変うれしく思っており、本学の学生を受け入れてくださることに深く感謝をしています。本学は、英語での教育も強化していますので、ぜひ、本学へも学生がいらしてくださいと願っていますと挨拶されました。水田理事長は、このように歴史の息づいたキャンパスに大変感銘を受けました、今日の協定をもって、今後は、共同研究プロジェクトなども含め、さまざまな交流ができるように期待していますと述べました。9月から本学へくる学生たちも参加し、和やかな懇談がもたれました。

ブダペスト・コルヴィヌス大学は1920年に設立されたハンガリー大学経済学部を前身とする名門大学で、現在は経済学部、経営学部、食物学部、園芸学部、緑地学部、行政学部、社会学部からなり、約17000

在ハンガリー日本国大使表敬訪問



日時…2011年6月15日
場所…在ハンガリー日本国大使公邸、ハンガリー共和国

2011年6月15日、伊藤哲雄在ハンガリー日本国大使のお招きで、大使公邸での昼食会に参加しました。昼食会には、セルダヘイ・イシュトバーン外務省アジア局長やシュ・ディ・ゾルタン元駐日大使（本学客員教授）、

名の学生が学んでいます。特に経済学部は、2009年のフイナンシャルタイムズ紙の評価で欧州内第6位にランキングされています。授業は英語、ドイツ語、ハンガリー語で行われており、ハンガリー国外からの学生が増加しているのが特徴です。同大学からはハンガリー共和国大統領訪問記念・水田ハンガリー奨学生が2名選出されており、9月より城西大学経営学部、城西国際大学観光学部にてそれぞれ1年間受入を予定しています。



コルヴィヌス大学調印

本学姉妹校関係からブダペスト商科大学ヒダシ学部長らが参加されたほか、昨年11月に本学を訪問されたマールトン・アッティラ日本・ハンガリー友好議連副会長も多忙な日程をぬって駆けつけられました。

冒頭、伊藤大使からは本学のハンガリーへの取り組みへの高い評価をいただき、セルダヘイ局長からは、今後も本学の取り組みに協力を惜しまない旨の力強い言葉をいただきました。また、マールトン議員からは、本学のハンガリー短期研修に際し、ご自身の郷里であり、ヨーロッパの温泉リゾートとして有名なハイドゥーソボスローでのプログラムを準備したいとの具体的なご提案もいただきました。



在ハンガリー日本国大使公邸にて政治・教育関係者等と

ブダペスト商科大学を訪問



日時…2011年6月15日
場所…ブダペスト商科大学、ハンガリー共和国

2011年6月15日ブダペスト商科大学を訪問しました。すでにブダペスト商科大学とは、学生の受け入れ、本学からの研修受け入れなどさまざまな交流が展開されています。

今回は、理事長をはじめ訪問団が到着したときに、日本語を学ぶ学生たちが並んで出迎え、水田理事長の『サンタバール夏の休み』から詩を暗記して朗読してくれました。哀しい詩であるため、佐藤紀子教授、セーカチ・アンナ教授にも相談しながら皆でいろいろと考えた結果、服装を黒に統一し、順番や読み方もいろいろと考え、何度も練習したそうです。あたたかく、非常に心のこもった朗読劇が構成され、一同大変感激しました。その後、共同プログラムや学生の受け入れ



ブダペスト商科大学にて学生たちと記念撮影

等について、ミーティングが行われました。学部だけでなく、大学院を含め、英語でのクラスがあるため、いろいろな受け入れ方ができるとの話が出ました。

その後、シャンドル・クリスト・エバ学長主催の夕食会が開かれ、非常になごやかな雰囲気の中、これまでの交流のあれこれについて、楽しい話が交わされました。

ニーレジハーザ大学を訪問



日時…2011年6月16日
場所…ニーレジハーザ大学、ハンガリー共和国

2011年6月16日、訪問団一行は、ブダペストから、車で3時間ほどのニーレジハーザ大学を訪問しました。広く新しいキャンパスの大学に到着すると、本学へ留学予定の学生たちに歓迎を受けました。



ニーレジハーザ大学にて理事長挨拶

ミーティング会場においては、水田理事長が、すでにニーレジハーザ大学から本学にきている学生たちが大変よく大学になじんで、楽しくいろいろな活動をしていること、また本学とハンガリーの交流の広がりについて、今後さらに幅広い学生交流や共同研究の展開を期待していると述べました。引き続き、マテー・エンドレ副学長より大学の説明を受けました。学部構成のあと、ニーレジハーザ大学は特に地域とともにある大学を標榜しており、地域の企業と連携し商品を開発していることなども披露されました。

その後、学内各所を案内いただき、本学に留学してくるキティさんも参加している美術作品展のオープニングに立ち会い、最後に薬草園内にできたばかりの日本庭園を見せていただきました。

薬学関係の交流について…センメルヴァイス大学訪問



日時…2011年6月16日
場所…センメルヴァイス大学、ハンガリー共和国

2011年6月16日、ハンガリー1の医科

系大学であるセンメルヴァイス大学を城西大

学杉林堅次先生と飯尾唯紀先生が訪問し、薬学部長のノサル・ペーラ教授と面会、本学の学術交流の可能性について話し合いを持ちました。

物理薬理学教授であるノサル学部長は、本学の訪問に際し、杉林先生の研究領域に近い大学院生1名に準備をさせ、その学生に最近の実験結果のプレゼンテーションを行わせました。学生の発表の様子・内容ともに博士課程学生のレベルにあるもので、大学の実験レベルの高さがよくわかりました。

ハンガリーの薬学部は5年制で、M.S. (Master of Scientist) で試験に受ければ薬剤師になるということでした※。

また、ノサル先生と、本学との大学院修士課程の1+1システム、博士後期課程における交換留学の可能性についても非常に前向きな検討がなされました。加えて、学部学生

薬学関係の交流について…



日時…2011年6月17日
場所…エトヴェシュ・ロラント大学、ハンガリー共和国

エトヴェシュ・ロラント大学(ELTE)訪問

2011年6月17日訪問団一行がエトヴェシュ・ロラント大学(ELTE)の本部棟でミーティングを行っているあいだ、杉林堅次教授は、理学部生物学科のポッディ・ペーラ植物解剖学科長に、新理学部棟内の理学部生物学科を案内していただきました。ポッディ先生は1980年代に国際基督教大学にいたことがあるとのこと、非常に親日的な先生でした。

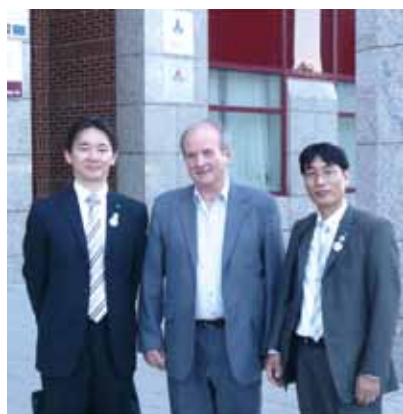
最初に鉱物・生物展示館の一部を見せていただき、ここには多くの珍しい鉱物や動物の骨などが展示されていました。ポッディ教授はセンメルヴァイス大学の薬学部生の天然物

の交換についても1週間か2週間の短期であれば、いつでも歓迎することでした。

※注…日本は6年制でB.S. (Bachelor of Scientist) となる。



センメルヴァイス大学薬学部のノサル・ペーラ教授



エトヴェシュ・ロラント大学(ELTE)理学部のポッディ・ペーラ先生

化学の教育も行っておられるとのことでした。一方、本学の薬草園やさまざまな研究内容にもおおいに興味を持たれたようでした。皮膚透過予測の研究、薬用植物の研究、糖質科学などで共同できるものはないかとの話も

ありました。

学生の交流については、英語力が必要なり必要とのことでしたが、英語が話せる大学院生は多いので、交換留学や1+1についても学長や学部長と相談しますとのことでした。

エトヴェシュ・ロラーンド大学(ELTE)を訪問



日時…2011年6月17日
場所…エトヴェシュ・ロラーンド大学、ハンガリー共和国

2011年6月17日、訪問団一行は、ブダペストの中心地にあるエトヴェシュ・ロラー



ELTEにて本学へくる学生たちと懇談

ンド大学(ELTE)を訪問しました。

ホルヴァート・ゾルタン副学長ほか、人文学部日本学科の梅村祐子教授らとともに現在本学で学んでいる学生のこと、来期からくる学生のこと、そして共同教育プログラムや共同研究について話し合いを持ちました。英語で行われているコースも多数あるとのこと、本学からの留学生をぜひ受け入れたいとのことでした。一行は、途中で二手に分かれ、杉林教授は薬学関係の打ち合わせに向かいました。

引き続き、元修道院であった建物を改築し、現在教員のクラブハウスとなっているクラブルームにおいて、本学に留学してくる学生たちと何を勉強したいか、今後どういう職業を目指しているのかなど和やかに懇談しました。

し、新たな都市間交流を促し、グローバル社会が進展する中、このような交流から双方の都市が新たな可能性を見出し、その可能性を拡大して行ってもらうため、鴨川市・ゴドロー市友好交流提携をゴドロー市の市長室にて、行ってきました。

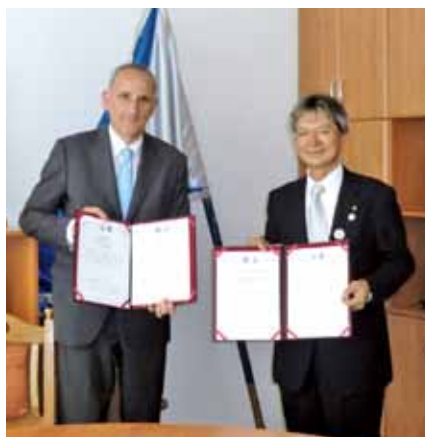
この協定提携の背景には、これまで1年間プログラムや1ヵ月プログラムでハンガリー学生を受け入れてきた鴨川に独自のキャンパスを持つ観光学部があります。鴨川は年間400万人の来訪者を数える美しい海岸線や日本の原風景となる棚田や山村を持つ観光都市で、人口は約3・6万人で観光学部は観光地の立地を生かした教育プログラムを展開しています。一方、ゴドロー市は、首都ブダペストから電車で1時間弱の距離で、ヨーロッパでベルサイユ宮殿に次ぐ大きさのバロック式宮殿であるグラシヤルコビツ宮殿を持つ人口3・3万人の観光地であり、また、観光学部受入れ学生の多くを送ってきた国始祖の名を戴くセント・イシュトバン大学が位置する市でもあり、大学と市との連携も活発です。

城西国際大学は、地域密着型総合大学を目標の一つとし、「地域に貢献する大学・地域に支えられる大学」を目指し様々な地域貢献型教育プログラムやプロジェクトを実施している。まさにこの友好交流提携はその代表的な例と言えます。

本提携書締結に至るまでには、セント・イ

シュトバン大学との交流の機会を用い、双方の市長の交流に向けての意向の親書が交換されており、ついに今次訪問で、鴨川市長代理としての親書を託された城西国際大学副学長・観光学部長の石田益実教授が片桐有而市長の署名済みの鴨川市・ゴドロー市友好交流提携書をゴドロー市長ゲーメシ・ジョルジ氏に持参し、署名を頂き、めでたく市友好交流提携締結となったものです。おりしも提携書の署名は、本年度EU議長国となっているハンガリーでの様々なEU会議が開催されていますが、その一つがゴドロー市で開催されたばかりで、その様子は世界に配信されました。

また、EU代表団はゴドロー市公園に日本の復興を願うための桜の植樹をしており、何か日本との深い縁を感じる署名式でありました。



片桐鴨川市長の代理として提携書を受取る石田副学長とゲーメシ市長

ゴドロー市庁舎にて



鴨川市・ゴドロー市友好交流提携署名式
日時…2011年6月17日
場所…ゴドロー市庁舎、ハンガリー共和国

2011年6月17日、セント・イシュト

バン大学と城西国際大学観光学部が仲立ち

ブダペスト応用美術館と交流



日時…2011年6月18日
場所…国立ブダペスト応用美術館、ハンガリー共和国

2011年6月18日ハンガリー訪問団一行

は、シュディ・ゾルタン元在日ハンガリー大

使ご夫妻の紹介を得て、アール・ヌーヴォー建築としても知られる、国立のブダペスト応用美術館（日本では工芸美術館と記述されることもあります）を訪ねました。ハンガリーの鬼才建築家、レヒネル・エデン



ジョルナイの天井が美しい応用美術館玄関で館長と

（1845―1914年）の設計により19世紀末に完成した建物で、アール・ヌーヴォー建築、デザイン史における重要な建築物の一つと言われています。

エントランス天井は、ハンガリーが誇るジョルナイ工房が、精根をこめて作成したタイルで装飾されています。建物内部は、インド・ムガル様式も一部取り入れられていました。応用美術館のタカチ・イムレ館長、ホッブ・フェレンツ美術館にあるファイエシヤク・ジェルジ東洋美術部門代表と本学美術館の特徴である浮世絵や日本美術について、深く話が交わされ、城西国際大学に学芸員取得コースについて話が及ぶと、インタースhipとして喜んで学生を受け入れますとの提案もあり、今後の交流の展開が楽しみです。

その後、館内にある秘蔵の東洋美術コレクションを案内いただき、2000枚にもおよぶ浮世絵コレクション、根付、鐙や中国・韓国のコレクションなどを見せていただきました。

水田理事長 世界日本語教育研究大会で基調講演

日時…2011年8月20日～21日
場所…天津外国語大学、中華人民共和国



2011年8月20日～21日の日程で、天津外国語大学（修剛学長）にて開催された第10回世界日本語教育研究大会において、本学理事長水田宗子先生が招かれ、基調講演を行いました。

「異文化コミュニケーションのための日本語教育」を大会のテーマに、世界各国からこれまでの最高人数である2030人の参加があり、前文部科学副大臣中川正春氏をはじめ、天津の教育委員会、日本大使館からは堀

之内公使、平田オリザ氏など各界から来賓も招かれ、日本語教育に貢献してきた学会にとつて、今回はさらなる発展に向けた意義深い大会となりました。

水田理事長は、20日午後3時10分より、「現代女性詩における『わたし』という表現主体」のタイトルで、講演を行いました。まず、詩歌においては作品を構成する声は詩人自身の声であり、それは詩人の内面を直接的に表現する声であると考えられてきたこと、

そのため、作品は読まれ、愛されても、批評や作品分析の対象として取り上げられる事が少なかったことを指摘。林美美子、左川ちか、永瀬清子など戦前の詩人と、石垣りん、茨木のり子、白石かずこ、吉原幸子などの戦後世代の詩人の作品を取り上げて、「わたし」が個人的な「わたし」の思想や心象風景を表現するだけではなく、直接的な詩人の生の声を超えて、複雑な世界と「女性という自己」の関係を虚構の作品世界に展開するための多様な役割を果たす、表現の仕掛けである事を論じました。講演終了後、参加者からは、非常に新鮮で興味深かった、これから自分ですらに学んでいきたいとの声が聞かれました。

天津学友会発足

日時…2011年8月20日
場所…天津、中華人民共和国



天津外国語大学（修剛学長）にて開催された第10回世界日本語教育研究大会に参加するために天津を訪ねていた城西大学・城西国際大学一行は、本学で学んで巣立っていった学生たちと懇親会を持ち、天津学友会を発足させました。

2011年8月20日午前10時から、天津外国語大学近くの茶店で、理事長をはじめとする両大学の教員、そして、すでに中国において、大学教員と職員として、そして保険会社、ホテルなどで活躍している卒業生たちが集まり、旧交をあたため、現在どのような仕事に携わっているかなどの報告をし、中国茶とともに楽しいひとときを過ごしました。

最後に、天津学友会のバッジを配布し、来年から年に一度は、集まれるようにと、再会

を約して散会となりました。



学生より近況報告



理事長基調講演

天津理工大学を訪問



日時…2011年8月21日
場所…天津理工大学、中華人民共和国

2011年8月21日、理事長を始めとする城西国際大学一行は、天津理工大学を表敬訪問しました。天津理工大学は1981年に創立された天津市教育委員会直属の大学で、工科を中心とし、工学、理学、文学、法学、管理学などを設置する理工系総合大学です。現在、14学院と4学部38学科56の専門分野と21の修士課程を擁する総合大学です。

天津理工大学と城西国際大学は、共同教育の分野において、緊密な交流関係を保っており、



記念品贈呈

り、これまで天津理工大学の日本語専攻の学生は、城西国際大学の学部と大学院で留学し、日本語力と研究能力を研鑽しています。

天津理工大学の馬建標学長、張樺副学長および国際交流処、外国語学院の方々が、城西国際大学一行を温かく迎え、初めての訪問にもかかわらず、古い友人が再会したような雰囲気の中で会見しました。馬建標学長は、天津理工大学の人材育成の目標を紹介した後、水田理事長は、東日本大地震の際に、中国の姉妹大学から寄せられた支援に感謝した後、国際教育の人材育成の特色を説明し、今後天津の経済発展に応じて、天津理工大学との交流を繰り広げ、環境分野を始め、語学分野のハイレベル人材の養成に協力する学部学科を紹介しました。

会見後、馬建標学長は、みずから天津理工大学新キャンパスを案内し、建設中の各教育施設を説明しました。明るい陽射しに輝いた広いキャンパスを目の当たりにして、両大学の責任者は今後の交流に一層の期待をこめて、邁進していきたいと決意を新たにしました。

天津・南開大学を訪問



日時…2011年8月21日
場所…南開大学、中華人民共和国

2011年8月21日、理事長を始め、天津

を訪問していた城西国際大学一行は、南開大

学を訪問しました。南開大学濱海学院の楊清海院長は、日本語学科王健宜学科長とともに、本学訪問団と懇談をしました。両大学は、現在の天津の経済発展について、感想を述べ、経済発展に必要な人材育成を巡って、意見交換を行いました。

また、これまでの共同教育の分野における教育交流を踏まえて、今後、学生の短期研修を拡大し、天津のエコシティプロジェクトと高齢化社会などの現状に対応して、環境と福祉分野の人材育成に、より一層の教育、学術交流を深めることに合意しました。

会見後、城西国際大学一行は、王健宜先生のご案内で、南開大学のキャンパスを巡り、そして中国で著名な画家、南開大学教授範曾氏の作品展、周恩来元首相の肖像などを見学しました。



南開大学濱海学院楊院長と会見

日独交流150周年記念ケルン大学主催



日時…2011年9月8日～10日
場所…ケルン大学、ドイツ連邦共和国

シンポジウムに参加

2011年9月8日～10日、日独交流150周年記念行事の一環として、ケルン大学において「急速に変化する世界における伝統的な調査研究の今後」をメインテーマに3日間の日程でシンポジウムが開催されました。ラウンドテーブル、複数のワークシヨップなどで震災後の日本も意識した多くの議論がなされ、また参加した多くの大学とケルン大学との交流の機会が設けられました。

ケルン大学は日本との交流に大変な力を入れており、今回も本学をはじめ東京大学、一橋大学、お茶の水大学、慶応大学、上智大学、関西大学など同大学と提携協定のある大学を中心に参加招聘を受けたもので、理事長



シンポジウムオープニング



日本語学科の校舎

学校法人城西大学は2011年9月12日、ポーランド・ワルシャワのポーランド日本情報工科大学と包括的な学術交流協定を締結しました。

ポーランド日本情報工科大学は1994年設立、学生数4000名。情報科学部、新メディア美術学部、情報管理学部、建築学部、日本文化学部の5学部からなる私立大学です。設立時には日本政府もIT・コンピュータの



日時…2011年9月12日
場所…ポーランド日本情報工科大学、ポーランド共和国

ポーランド日本情報工科大学と包括学術協定締結

代理として並河克彦学校法人経営企画室長、ポール・シヤロウ城西国際大学国際人文学部教授（オールイングリッシュコース ディレクター）が出席いたしました。

本学とケルン大学は2010年3月、学術協定を締結。すでに、これまでも両学間の交

換学生が実施されており、現在も城西国際大学から1名留学中で、ケルンからの第2陣が準備中です。今回の訪問でも日本語・日本文化は当然ながら、さらに幅広い分野での学生交流拡大の期待と実施を双方で確認しました。

人材育成をポーランド政府と協力して育成することを目的に積極的に関与しています。

これらの分野での人材輩出などで現在ではポーランドの私立大学のトップ校（複数の媒体・メディア評）として知られています。2007年には日本文化学部を設立、近年は日本語・日本文化の教育に力を注いでおり、この分野に強く、またメディア教育の充実した本学との交流を相互に検討していたところ、ポーランド大使館を通じて正式に紹介があり、2011年9月、学校法人城西大学より並河経営企画室長が理事長代理として訪問し、ノヴァツキ学長と面談、包括学術協定に至ったものです。

今回のワルシャワ訪問では、他にワルシャワ大学日本語学科を訪問しました。同学科からの本学での日本語・日本文化の学習のための留学生派遣、同大学での広くポーランドに関する本学からの留学生受け入れについて打ち合わせを行いました。

本学はハンガリーとの交流において国内屈指の教育活動を行っており、今後はポーランドを含めた中欧地域での交流の発展が期待されます。

本学の短期研修プログラムが日本学生支援機構の留学生交流支援制度に採択



日時…2011年7月6日
場所…城西国際大学

本学が実施する短期研修プログラムが、日本学生支援機構（JASSO）の「平成23年度留学生交流支援制度（ショートステイ、ショートビジット）」に採択されました。

同制度は、学生相互交流プログラムや大学間ネットワークの構築等に寄与し、大学等の国際化を促進することを目的としているものです。対象学生には奨学金が支給されるので、経済的負担を軽減することができます。

本学からは、左の7つのプログラムが採択されました。総合大学として多彩な国際研修プログラムを実施いたします。

海外留学・研修プログラムの最新情報は、本学国際教育センターホームページに掲載しています。

(<http://jiu.ac.jp/center/>)

【セントイシュトバン大学(ハンガリー)特別交換留学】(SS&SV)

本学観光学部の学生と、ハンガリーのセントイシュトバン大学の学生との交換留学プログラム。1ヶ月間、語学トレーニングと観光実務などの研修を実施し、観光に関する知識を実践を通して身につけます。

【UCR・RCC JIU メディア学部短期研修プログラム】(SS)

米国のUCR（カリフォルニア大学リバーサイド校）・RCC（リバーサイドコミュニティカレッジ）の学生を対象に実施。メディア学部での研修を通して、情報発信力を高めます。

【言語文化学習と国際コミュニケーション能力育成プログラム】(SV)

国際人文学部の学生を対象としたプログラム。米国・中国・韓国で実施し、現地大学でのフィールドスタディや現地学生との交流を図り、国際理解力を深めます。

【メディア学部米国 UCR 研修プログラム】(SV)

メディア学部の学生を対象に実施。UCRでの研修を通して、グローバル化したメディア業界を体験することを目的としています。

【米国 UCR-JIU Pharmacy Internship Program 2012】(SV)

薬学部の学生を対象に実施。米国の医療現場を訪問し、日米の医療システムや薬剤師のあり方を比較することで、国際的な視野を広げることが出来ます。

【サマー／ウィンターセミナー UCR・カモーン・カレッジ】(SV)

UCR、カモーン・カレッジ(カナダ)で実施するプログラム。語学トレーニングや現地学生との交流、ホームステイなどを体験します。

【中国大連・天津・北京への海外研修プログラム】(SV)

観光学部の学生を対象に実施。中国各都市での観光資源を把握したり、中国人観光客から見た日本の魅力を調査。中国の観光事情への理解を深めることができます。

※プログラムの区分について

SS & SV：学生受入れ、学生派遣の両方を支援するプログラム

SS：学生受入れのみを支援するプログラム

SV：学生派遣のみを支援するプログラム

出版活動

US-Japan Women's Journal 第40号刊行

出版活動

今号は若手研究者による戦前の主婦像の考察から現代女性作家の身体表象論まで幅広いテーマの論考を掲載しております。

US-Japan Women's Journal は日米間を中心に他地域を加えたグローバルな視点に立ったジェンダー研究の学術交流、情報交換を目的に、女性、男性、家族、労働、社会問題、文化研究等についての論考を掲載する英文誌です。学校法人城西大学国際学術文化振興セ

ンター(JICPAS)が年に2冊刊行しております。購入方法、バックナンバーなどについては学校法人城西大学国際学術文化振興センター(JICPAS)のWebサイトをご覧ください。

(<http://www.josai.jp/jicpas/usjw/index.html>)

●周辺図



アクセス インフォメーション

- 東京メトロ有楽町線 麹町駅 1番出口より徒歩3分
- 東京メトロ半蔵門線・南北線 永田町駅9a番出口より徒歩5分
- 東京メトロ丸ノ内線・銀座線 赤坂見附駅D出口より徒歩8分
- JR中央線・総武線 四ツ谷駅より徒歩10分



学校法人 城西大学

城西大学／城西短期大学 城西国際大学

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26 TEL.03(6238)1300

学校法人 城西大学 <http://www.josai.jp/>城西大学 <http://www.josai.ac.jp/> 城西国際大学 <http://www.jiu.ac.jp/>

学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26
TEL 03(6238)1300 FAX 03(6238)1299